

単
元
名

アップとルーズで伝える

教科書出版社名 (光村図書出版)

○ 小学校 (4) 年 教科等 (国語)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等でつけたい力)

- ・考えとそれを支える理由や事例との関係について理解することができる。
- ・段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。

(学校図書館等の活用でつけたい力)

- ・いくつかの情報の中から必要な情報を見つけ、まとめる力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…図書資料から、目的に合った情報を読み取る。
- 整理・分析…考えと理由の関係を捉える。
- まとめ・表現・発信…課題に対する解決策など、整理した情報や根拠をもとに他者に伝え、学習した成果を披露する場を設定する。

○ 学習の展開 (全 9 時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印にて記入してください)

(単元の流れを簡潔に記入してください)

第 1 次 (2 時間)	・「思いやりのデザイン」を読み、構成や全体を把握する。 ・筆者の考えに対する自分の考えをまとめ、交流する。
第 2 次 (4 時間)	・「アップとルーズで伝える」を読み、構成や筆者の考えを捉える。 ・段落どうしのつながりをたしかめる。 ・中を中心に読み取り、「アップ」と「ルーズ」の説明をたしかめる。 ・筆者の考えに対する自分の考えをまとめ、交流する。
第 3 次 ☆ (3 時間)	・学習内容の流れをつかみ、本を選ぶ。 ・動物を主人公とした本を読み、登場人物のえがかれ方を読み取り、その具体例を探す。 ・交流、振り返り ・登場人物の絵を描き、本の紹介文入りの十二支表を作る。

(本時 8/9 時)

☆学校図書館等活用（本時）の学習

本時のねらい
・2冊以上の本を読み、自分の考えを持ち、それを支える具体例を見つける。

学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点
5分	1. めあての確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自分の考えとその例を見つけ、まとめることができる</div> ・学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none">・最終ゴールは絵を描き、学年の掲載物を作ることを確認する。・各グループに何冊か用意させ、2冊以上は読むように促す。・使った本の題名・分類を記入する。
20分	2. 本を読み、登場人物のえがかれ方をつかむ ・何冊か動物が登場する本を読み、それぞれの本で同じ動物がどのようにえがかれているのか（性格、考え方など）考え、ワークシートに記入する。 ・考えたことを支える理由やその根拠となる具体の場面を選ぶ。	
15分	3. 考えたことの交流 ・交流した後、グループの考え・具体例（2つ程度）を決める。	<ul style="list-style-type: none">・実際にどの場面が見せながら交流するようにする。
5分	4. 振り返り ・考えを伝える際に理由や事例がどのような働きをしているのかを振り返る。	

